

海外安全対策情報（２０２０年１０月～１２月）

１ 社会・治安情勢

ウガンダでは、携帯電話の窃盗や夜間の住居侵入、強盗などが頻繁に発生しており注意が必要です。特に、夕方以降暗い時間帯の徒歩移動、人通りが少ない路地、外国人が少ない地区などは犯罪に巻き込まれやすいので避けてください。

新型コロナウイルスの影響で、３月以降日本人を含むアジア人への風評被害が発生しました。現在は落ち着いてはいますがローカルマーケットなど外国人が少ないエリアへの立ち入りは極力控える等の予防対策が必要です。

また、現在のウガンダでの新型コロナウイルスの感染状況は新規感染者が１日に1000人を超える日もあり増加しています（１２月３１日：累計感染者数３５，５１１名、累計死亡者数２６５名）。１０月１日よりエンテベ国際空港が再開されましたが夜間帯の外出禁止、マスクの着用などの拡大防止措置が継続してとられています。

２０２０年１１月１８日、大統領選挙のキャンペーン中に野党大統領候補者が逮捕され、逮捕に反対するデモがウガンダ各地で発生し、５０数名の死亡者が発生しました。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪

（１）邦人被害事案 邦人の犯罪被害は発生していません。

（２）最近の治安状況 ２０２１年の大統領選挙に関し、治安当局と野党及びそのサポーター間での衝突がカンパラ市内で度々発生しています。治安当局は騒乱の沈静化のため催涙弾を度々使用しており一層過激化しないか注視するとともにそのような騒乱に巻き込まれないようローカルエリアへ近づかないよう注意が必要です。

３ テロ・爆弾事件発生状況

ウガンダに関して、テロ・爆弾事件は２０１０年７月以降発生していません。しかし、２０１９年４月に発生したスリランカの同時爆発事件をはじめ予期なく発生する誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした子供、女性の誘拐事件が多数発生しており邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中の夜間移動は控え警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

書類の偽造や詐欺事件などが発生していますので取引の際は慎重な審査、調査を行ってください。事務所、自宅への侵入事件が多発しており居住エリアの選定において、周囲の治安情報を収集しソフトターゲット（防犯能力が低く狙われる対象）にならないよう、セキュリティがしっかりした物件を選び、入居後も侵入が容易な場所はないか定期的にチェックし警備レベルの維持向上に努めてください。

以上